

「腎細胞がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究」へのご協力をお願い

— 2017年1月1日～2026年12月31日の間に
当科において腎細胞がんの治療を受けられた方へ —

1. 研究の概要

1) 研究の意義

腎細胞がんは近年増加しています。腹腔鏡下手術、ロボット支援手術や免疫チェックポイント阻害薬など様々な治療方法が日本でも行う事ができるようになってきました。以前より患者さんの診断時の年齢や治療に対する反応が欧米と日本では違うことが指摘されています。

そこで、様々な治療法が選択できるようになった近年の日本の患者さんが、どのような治療を受けておられるのか、その結果どのような治療効果を認めているかなどの実態を把握することは大変重要な事です。

2) 研究の目的

腎細胞がんと診断された患者さんの年齢や診断された時点での状態を調査し、どのような病気の状態の時に最初に行われる治療が何か、研究期間中の患者さんの状態がどうだったかをまとめることを目的にしています。

本学においてデータの収集および解析を行います。

2. 研究の方法

2017年1月1日～2026年12月31日の間に当院において腎細胞がんの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに診断された時の状態や腎細胞がんそのものの性質を示す検査結果および治療内容のデータを選び、がんの治療に影響する患者さんの状態に関する分析を行い、治療をどう選択されるか、治療によって患者さんの状態がどう変化したかについて 2036年3月31日まで10年間にわたり調べます。

1) 使用する試料・情報

本研究では試料(血液、体液、組織、細胞、排泄物等の人の体から採取されるもの)は扱いません。研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、性別、家族歴、既往歴
- 腎細胞がんの診断時の情報（画像診断結果、病理組織診断結果など）、診察所見、治療内容、血液検査データ、調査時点（登録後から1年経過毎に10年間）での患者さんの状態。

2) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後10年間保存させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当教室のホームページに研究内容を掲示します。

3) 情報の保護

患者さんの情報は、セキュリティ管理が施されたサーバー上で、ID・パスワードを用いて厳重に管理します。

3. 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

この研究では個人情報を扱いません。

この研究ではあなたのデータを個人情報がわからない形にして収集します。研究の結果は、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

4. あなたの情報の使用を望まれない場合

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027年3月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。

この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

※この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

【 本研究の観察研究代表者および研究事務局 】

「腎細胞がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究」

研究事務局

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学大学院 医系科学研究科 腎泌尿器科学

「腎細胞がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究」 プロジェクト

研究代表者

日向 信之

広島大学大学院 医系科学研究科 腎泌尿器科学 教授

共同研究機関

機関名	広島市立安佐市民病院	三田 耕司
機関名	国立病院機構呉医療センター	繁田 正信
機関名	JA 広島総合病院	加藤 昌生
機関名	県立広島病院	梶原 充
機関名	三次市立三次中央病院	丸山 聡
機関名	国立病院機構東広島医療センター	藤原 政治
機関名	JA 尾道総合病院	森山 浩之
機関名	国立病院機構福山医療センター	長谷川 泰久

<問い合わせ・連絡先>

広島大学大学院 医系科学研究科 腎泌尿器科学

日向 信之（研究責任者）、後藤 景介（研究担当者）

電話：082-257-5242 FAX：082-257-5244